

# CIRレポート11月号 (ロシア)

## ロシアのクリスマスや新年

国際交流員 バレンティーナ・ボトホエバ (ロシア)

皆さん、こんにちは！山口県ロシア交流員のバレンティーナです。ますます寒くなっていきますね。もちろん、ロシアの12月の気温が日本よりずっと低くて、場所によって-10度から-30度までですが、部屋の中はどこでも暑いぐらいです。

毎年12月になると、日本はクリスマスの雰囲気になりますが、ロシアは新年の雰囲気になります。ロシアのクリスマスは、ヨーロッパより約2週間遅れの1月7日(ユリウス暦)で、主に主教的な祭りとなっているので、とくに特別な食事や特別なパーティーは開かれないです。クリスマスより、ロシアの人にとっては新年の方が大切です。

クリスマスツリーも新年のためのもので、クリスマスのサンタクロースの代わりに新年のジェット・マロースと孫のスネグーラチカがいます。



ジェット・マロースと孫のスネグーラチカ

ロシアの新年は家族で迎えるのが普通です。新年を迎える時の料理は、決まった料理はありませんが、ほとんどの家庭で出てくるのはオリビエやシュバというサラダ、豚肉のゼリーなどです。飲み物はスパークリングワインです。どんな家族でも新年の夜スパークリングワインは必ずあります。



毎年 12 月 31 日大統領のメッセージが各時間帯で 23 時 55 分に放送され、多くのロシア人はクレムリン時計塔のチャイムに乾杯します。その後友達とパーティーしに行ったり、お正月の花火を見に行ったりします。



モスクワの赤の広場での花火

クリスマスの前、40 日間の四旬齋があって、キリスト教信者は 1 月 6 日まで肉を食べません。1 月 6 日の夜ロシア正教信者は教会の礼拝式を訪れます。



ロシア正教会、クリスマスイブ

冬期休暇はロシアで一番長い連休で、ロシア人が一番楽しみにしている時期です。学校やほとんどの会社が12月31日から1月7日まで休みで、全国がパーティーしています。クリスマスから洗礼祭りの期間はスヴァートキと呼ばれていて、この間に女性たちが占いを行う伝統があります。かなり古くからの歴史がある占い方法で、占い師さんに占ってもらうのではなく、女性たちは未来のことを自分で占う習慣です。



ロシアは2週間ほど遅れた状態を続けていましたが、1919年にグレゴリオ暦に移行しました。ロシアには現在、新暦とその13日後の旧暦の、2回の新年が存在しています。旧正月は国の祝祭日ではありませんが、ロシア人は新年の時期が好きで、家族や友達で祝っています。

山口県で初めて過ごすクリスマスと新年を楽しみにしています！